公益社団法人
大阪府看護協会

府民と看護をつなぐ

vol. 26

ティアラ

特集

被災地を最前線で支える
災害支援のプロフェッショナルナース

看護のしごとの魅力を次世代に伝える
「みらいのたからばこ2024in大阪」

毎日を自分らしく過ごすヒント セルフケア通信

病院以外で働く 看護師さん

看護のしごとの魅力を次世代に伝える

みらいのたからばこ

2024 in 大阪

レポート

大阪府看護協会は、子どもたちがひとりでも多く看護職を目指してもらえるよう、ホームページやSNS、時には地域に出向くなど、看護のしごとの魅力をさまざまな形で発信しています。府民の皆さんが参加できるイベントも開催しており、中高生対象の「看護の出前授業」「ふれあい看護体験」、小中高生対象の「夏休み看護体験イベント」、全世代対象の「看護未来展」等があります。
今回、全国の会場で実施する地域密着子どものお仕事体験イベント「みらいのたからばこ」の主旨に賛同し、「看護のお仕事 体験してみよう！」ブースを初出展しました。

大賑わいの会場!!

日時 令和6年11月9日(土)・10(日)
10:00～16:00

場所 インテックス大阪　**対象年齢** 4歳～15歳

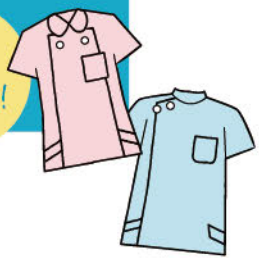
参加者 合計:126名(定員120名)　来場者合計:17,646名

看護のお仕事 体験してみよう！

Aコース 聴診器体験・赤ちゃん抱っこ体験(4歳以上)
※所要時間:20分

Bコース AED体験(8歳以上)
※所要時間:20分

ナース服体験も！



かんごちゃんも出張したよ！

AEDの指示を聞いて動こう！

参加した子どもたちの保護者からの声

聴診器の使い方は丁寧に！

抱っこはそーっとするのが大事！

レクチャーを受けて…

いざ実践！

看護協会よりイベントを終えて

- 小学校低学年の参加が一番多く、皆さんとても元気いっぱい！一生懸命説明を聞いて体験していました。ほほえましく見守る保護者の様子が印象的でした。
- 入院時に医療従事者によくしてもらった経験から看護師を目指している低学年のお子さんが、感謝の手紙を見せてくれました。また、将来は助産師になりたいという高学年のお子さんもいました。
- ブースで講師を担当したのは、入職2～6年目のフレッシュな看護職！子どもたちのパワーをたくさんもらって、自身の看護の原点を振り返る良い機会になったようです。

大阪府看護協会 弘川会長よりメッセージ

**赤ちゃんの実際の重さ、聴診器で聞こえる音、AED体験による命の大切さなど、人の身体の不思議に興味を持ってもらうきっかけになったようです。
看護のお仕事体験を通して、人を大切にする心、助け合う心を感じていただき、将来看護職を目指す子どもたちが多く育つことを楽しみにしています。**

府民の皆さんの参加をお待ちしています！

西日本最大級！介護・福祉・医療・看護の総合展示会

看護未来展2025

主催：看護未来展実行委員会

2025
4.16(水)-18(金)

詳細は 看護未来展 検索

特別講演 「知っててよかった災害医療の基礎知識 ～南海トラフに備える大阪の医療体制～」

講師
大阪急性期・総合医療センター
高度救命救急センター
センター長 統括DMAT隊員
藤見 聡 氏

日時 令和7年4月18日(金) 11:00～12:00

場所 インテックス大阪 6号館2階会議室F

詳しくはこちらをチェック！

特集

被災地を最前線で支える

Focus! 災害支援の プロフェッショナルナース

阪神・淡路大震災から30年、能登半島地震から1年となる2025年1月、
30年以内に南海トラフ地震が発生する確率は「80%」に引き上げとなりました。

もし実際に災害が起きたら、さまざまな医療支援チームが現地で活動します。
その中でも、チームの要として活躍するのが看護職。
そこで今回は、大阪府看護協会が育成する「災害支援ナース」をはじめ、
被災地で活動する看護職に、任務と看護の役割についてお話しいただきました。

写真提供：市立輪島病院（震災後の輪島市の様子）

Professional Nurse 01

災害支援ナース

災害支援ナースとは、被災地（医療機関、福祉施設、避難所等）に派遣され、地域住民の健康維持・確保に必要な看護を提供すると共に、被災した看護職の心身の負担を軽減し、支える看護職のことです。被災地での活動は発災後3日以降～1か月間、派遣期間は原則、移動期間を含めた3泊4日です。日本看護協会・都道府県看護協会が育成・派遣してきた災害支援ナースの活動が認められ、2024年度から国の制度に位置づけられ、都道府県から正式に派遣要請がされるようになりました。

Focus!

たにぐち　こうめい
谷口 孔明 さん
Komei Taniguchi

所属
- 関西医科大学附属病院 副看護師長 特定看護師
- 災害支援ナース

東日本大震災（石巻市）での活動から災害支援ナースに！

災害支援ナースを志したきっかけは、2011年の東日本大震災です。当時、病棟スタッフだった私は看護部から災害支援ナースの活動要請があることを聞きました。何ができるのか分かりませんでしたが、『未曾有の災害を目の当たりにし、看護師としてまず行動することが大切』と考え、活動に参加しました。石巻市での活動を通じて、看護の専門性をいかした支援が被災者の心の安定につながることを実感し、災害支援に対する使命感が芽生えました。

市立輪島病院 病棟スタッフと（前列右が谷口さん）

能登半島地震直後の現地での爪痕を目の当たりにして ～活動を通して感じた病院看護師への支援の大切さ～

能登半島地震後、大阪府看護協会の要請を受け、1月9日から第1班として2名が市立輪島病院に派遣されました。活動では「これ以上傷つけない、迷惑をかけない、遠慮させない」を心がけ、病棟での患者さんのケアに加え、エレベーターが使えない中での階段での患者搬送、病院内の片付け・清掃などを行いました。医療スタッフ自身も被災者であり、連続勤務が続く厳しい状況の中、少しでも負担を軽減することを最優先に活動しました。また、「家に帰れば現実を突きつけられる。輪島の街並みを見ても虚しさを感じる」というスタッフの声を聞き、思いを傾聴し、精神的ケアにも努めました。

活動中、「1月2日はみんな声を発していなかったのに、今は笑っとる」「支援してくれるみんなの優しさが身に染みる」という言葉を聞き、支援の大切さを改めて実感しました。この経験を次の支援活動と後進育成にいかし、災害看護の輪を広げていきたいと考えています。

◀震災後の病院内の様子（検査室）
写真提供：市立輪島病院

災害支援ナース活動▶

Professional Nurse 02

DMAT Disaster Medical Assistance Team
災害派遣医療チーム

DMATとは医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に48時間以内から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです。阪神・淡路大震災で災害医療について多くの課題が浮き彫りとなったため、この教訓をいかし、厚生労働省により平成17年４月に発足しました。

Focus!

はやかわ　だいすけ
早川 大輔さん
Daisuke Hayakawa

所属
- 大阪けいさつ病院 主任看護師 特定看護師
- 日本DMAT

能登半島地震一時避難所
DMATチームの事前打ち合わせ

東日本大震災におけるDMATの姿を見て看護師を目指す

学生時代に東日本大震災の現地で活動するDMATの姿をメディアで見て、災害時に現場で活動できる看護師になりたいと考えるようになりました。

看護師2年目に、看護師経験が少ない自分にできることがあるか不安もありましたが、当時の看護師長の後押しもあり、病院内のDMATワーキンググループに所属することになりました。そして翌年には日本DMATの資格を取得しました。

有事に備えた災害訓練

日本DMATの資格は5年毎の更新制です。常に最新の知識・技術を習得する必要があるため、定められた技能維持研修や様々な訓練への参加が必須となります。

病院ではDMATワーキンググループが主体となり、院内災害対策チームと協力して年に1回災害訓練を行い、災害時に職員が役割を果たせるようにアクションカードの改訂や必要物品の整理、災害対策チームメンバーへの勉強会などを実施しています。また、トリアージ訓練や災害カルテの記載方法の講義、医師を対象に災害診療の訓練を実施しています。

能登半島地震一時避難所
利用者情報整理（夜勤）

看護師としての判断力や行動力、チームのキーパーソンとしての役割の重要性を痛感した能登半島地震

昨年の能登半島地震では、金沢市内に派遣され、被害が大きかった能登半島から自衛隊ヘリなどで避難して来られた方々の一時避難所の運営に携わりました。避難して来られた方は、明るく過ごされているように見えましたが、家族や友人を亡くされた方もおられたので、DPAT（災害派遣精神医療チーム）と情報を共有し心のケアもできるように活動し、短い時間でも横に腰を掛けて話を聞くことも大切であると学びました。また、避難所での急変対応を経験したことで、高度な医療機器の無い現場では医療者の観察力が頼りであり、看護師としての判断力や行動力、チームのキーパーソンとしての役割の重要性を感じました。

災害はいつどこで起こるか分からず、被災者は身体的にも精神的にも苦痛を感じているので、看護師としてできることは何か常に考えて行動するように心がけています。一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、医療者だけではできることに限界があり、ボランティアや全国からの支援が被災者の力になると感じました。また、自分自身が被災者となるかもしれないそう遠くない未来のために、「今できること」を考え備えたいと思います。

Professional Nurse 03

DPAT Disaster Psychiatric Assistance Team
災害派遣精神医療チーム

Focus!

よまちだ　さとる
四町田 悟 さん
Satoru Yomachida

所属
- 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 副看護部長
- DPAT先遣隊 災害コーディネーター

DPATは都道府県単位で組織され、被災地で活動を行うチームです。部隊ごとに精神科医師（精神保健指定医）・看護師・業務調達員（薬剤師、精神保健福祉士、公認心理師、作業療法士等）3～5名から構成され、災害発生後48時間以内に活動を始める先遣隊と、その後必要に応じて数週間～数カ月単位で活動する部隊に分けられています。

能登半島地震での活動拠点本部 ▶
（公立能登総合病院）での活動

DPATが発足した2013年から参加

阪神淡路大震災で家族が被災し、被災生活を目の当たりにした時から、いずれは災害医療に携わりたいと考えていました。2013年にDPATが発足され、翌年上司の推薦もあり「DPAT先遣隊養成研修」に参加しました。2016年に熊本地震における現地の精神科病院の災害支援活動を通して、この先DPAT活動を続けていこうと決心しました。2018年大阪北部地震、2024年能登半島地震の災害支援活動を経験。また、2020年新型コロナウイルス感染症では、武漢から航空機で帰国された方々の健康観察支援を行いました。

環境の変化に弱く 適応できない方への働きかけ

被災地において発達障害のある患者さんや認知症の患者さんは、環境の変化に弱く、適応できない方が多いため、避難所に行けない方が少なくありません。また、避難所での集団生活が続くとストレスが溜まり、地震・余震によりパニック症状がでる方、不眠が続く方もおられます。そこでDPAT隊が訪問診療や内服薬の処方を行い、場合によっては地域の保健医療機関との連携を図ることがあります。

2020年新型コロナウイルス感染症のDPAT活動
感染の恐れがある患者の搬送のシミュレーション

安全を確保し、 被災者目線に立った活動を実践

熊本地震での倒壊の恐れがある精神科病院の患者様を他県の精神科病院へ搬送する支援では、まず搬送車両の選択が必要でした。身体合併症のある方や医師・看護師の観察が必要な場合は救急車・自衛隊の特殊車両での搬送、自身で車両の乗車ができる方は、大型バス・観光バスでの搬送になりました。また、急変対応として施設職員の同伴、身体的な急変時のためDMAT隊も同乗。搬送時には適宜休憩と声掛け、状況説明をわかりやすく伝えることに配慮しました。

能登半島地震における本部での活動は、能登南・輪島（門前）・珠洲に設けられた各指揮所の活動支援として、状況把握と情報共有を中心に、今後の調整や派遣計画の作成を行いました。また、関連各所からの連絡や活動内容の記録と様々な情報の電子化、当日の活動だけでなく短期～中長期的な活動・支援方針を検討しました。活動時、常に心がけていることは、安全を確保すること。そして、被災者目線に立ち、被災地域・支援ニーズに真摯に耳を傾け、自分に何ができるかを考え、チーム内で共有した上で対応することです。

DHEAT Disaster Health Emergency Assistance Team
災害時健康危機管理支援チーム

DHEATは、被災地の保健所等の自治体職員を支援するチームです。予め研修や訓練を受けた地方公務員（主に保健所職員）である医師や保健師、薬剤師等がチームを組み、被災地の保健所や自治体が担う、医療対策や避難所における保健衛生対策等の情報を収集、分析評価を行い、連絡調整等の指揮命令系統が円滑に実施されるよう、被災地の自治体職員と一緒に活動を行います。

Focus!

すぎやま　まりこ
杉山 真理子さん
Mariko Sugiyama

所属
- 大阪府和泉保健所 地域保健課 保健師長
- DHEAT

災害時には保健師として地域の健康を守る活動を行いたいとDHEATへ

地域で暮らす方々がより健康に、安心して暮らせるよう様々な活動を行いたいと保健師を志しました。

採用2年目に阪神淡路大震災が発生し、神戸在住の先輩保健師が、自分の家の片づけよりも、保健師として支援しているご家庭の被災を心配し、訪問に向かう姿を見て、災害時には、保健師として地域の健康を守る活動を行いたいと思い続けてきました。

保健師長となり、災害時の被害を最小限に抑えるには、平時からの準備や訓練の重要性を感じ、医療機関や関係機関と連携しながら様々な取り組みを行うとともに、国のDHEAT研修を受講しました。この度の能登半島地震では、被災した自治体職員の支援を通して災害支援を行いたいとの思いから、DHEAT派遣を希望しました。

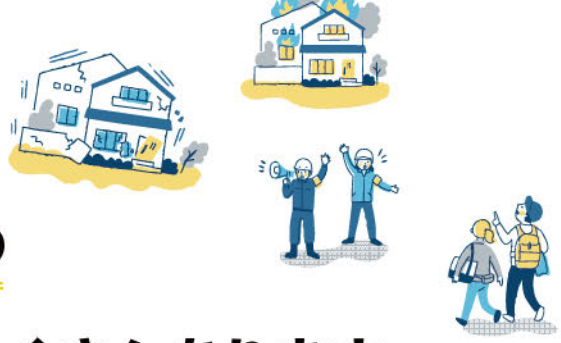
現地到着直後 机もないところからスタート

様々な災害活動チームがそれぞれの強みを発揮し、効果的な活動が行えるよう裏方としてサポート

大阪府DHEAT第1班として、石川県穴水町で1週間活動を行いました。現地の自治体職員も被災しながら膨大な業務に追われ、昼夜を問わず活動を続けている状況でした。さらに、様々な専門職の災害派遣チームが次々現地入りし、その対応にも追われていました。

DHEATとして、現地の自治体職員の味方となり、「何かお手伝いしましょうか」ではなく、自ら必要な情報の集約や整理を行い、「〇〇を行いましょうか」と提案型で活動を行うように心がけました。そして、様々な災害活動チームがそれぞれの強みを発揮し、効果的な活動が行えるよう、裏方に徹しながら、必要な調整を行うとともに、現地の自治体職員が交代で休める体制を作りました。

穴水町保健医療福祉調整本部会議
保健師チームの活動状況、避難所の課題について報告



被災地を最前線で支える災害支援チームは他にもたくさんあります。

災害支援に関わるチームや、職種についてはさまざま。紹介した災害支援ナースの他に災害時の支援チームが病院、福祉施設や避難所等の支援に入ります。

皆さんはいくつ知っていますか？

● 災害支援チームの一例

（厚生労働省通知「大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について（R4.7.22発出）」をもとに作成）

- DMAT（災害派遣医療チーム） P.5
- JMAT（日本医師会災害医療チーム） ※1
- AMAT（全日本病院医療支援班） ※2
- DWAT（災害派遣福祉チーム） ※3
- JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）
- AMDA（アジア医師連絡協議会）
- TMAT（特定非営利活動法人）
- HuMA（特定非営利活動法人災害人道医療支援会）

災害支援ナース P.4

病院・福祉施設
避難所 等

- DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム） P.7
- DPAT（災害派遣精神医療チーム） P.6
- JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）
- 薬剤師チーム
- 歯科医師チーム
- 保健師
- 日赤救護班
- 日赤こころのケアチーム

JMAT（日本医師会災害医療チーム） ※1
Japan Medical Association Team

被災地医療を中期的に支えるチームであり、DMATと入れ替わるように被災地に入り、医療活動や健康管理を担当します。

AMAT（全日本病院医療支援班） ※2
All Japan Hospital Medical Assistance Team

災害の急性期、亜急性期に災害医療活動を行うことができる研修・訓練を受けたチームであり、病院支援、避難所の巡回診療、医療救護所における活動等、多様な医療支援班等との連携をとります。

DWAT（災害派遣福祉チーム） Disaster Welfare Assistance Team ※3

介護福祉士、社会福祉士、看護師、理学療法士等、福祉専門職のチームであり、災害時における二次被害防止のため、災害時要配慮者（高齢者や障がい者、子ども等）に対する福祉・心理的支援をします。

**災害時の支援は、紹介した以外にもNPOなど
それぞれの特徴をもったチームが数多くあり、タイムリーに活動しています。**

最旬 Topics

毎日を自分らしく過ごすヒント

セルフケア通信

Mental Health Care Newsletter

3月から4月頃は「体がだるい」「イライラする」「気分が落ち込む」などの不調を感じる“春バテ”に悩まされる人が多くなる季節。さらに朝晩の寒暖差に加え、就職や入学といった生活環境の変化によって心と体にストレスも加わり、自律神経が乱れがちになってしまいます。春バテの予防と改善には規則正しい生活習慣はもちろん、予防・改善方法を知り自律神経を整えることが大切です。

ご紹介します！

国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院
看護師／心臓リハビリテーション指導士

阪田 智子 さん

Pick up

“春バテ”に負けない！

自律神経を整えて
季節の変わり目の不調改善

自律神経を整える正しい入浴方法

自律神経を整えるにはお風呂で体を温め、心身をリラックスさせることが効果的。間違った入浴方法は逆効果となる場合があるので注意が必要です。

Point 1 シャワーだけでなく湯船に浸かることがポイントです。38度から40度くらいのぬるめのお湯で、10分から20分程度浸かってゆっくり体を温めましょう。42度を超える熱すぎるお湯は心身を興奮させてしまうため逆効果になります。

Point 2 入浴中の発汗で体の水分が失われます。入浴の前後にコップ１杯程度の常温の水で水分補給をしましょう。

Point 3 炭酸系入浴剤やアロマオイルなどを使用することで、温熱効果やリラックス効果が高まります。

質の良い睡眠

睡眠は一日の疲れを癒し、睡眠不足は自律神経の乱れにつながります。良い睡眠のための環境づくりから心がけましょう。

Point 1 寝る前のパソコンやスマホの使用を控え、寝室をできるだけ暗くしましょう。

Point 2 起床時間や就寝時間を決め、規則正しい生活を意識しましょう。休みの日もなるべく決まった時間に起き、部屋に朝日が入るようにしましょう。食事を1日3回とることも生活リズムを整えるのに有効です。

Point 3 外出やウォーキングなど、適度に体を動かすことで気分転換を図ることも有効です。

Point 4 ストレスを発散できる趣味や気晴らし方法を見つけましょう。また、就寝前に目元を温める、音楽を聴くなどリラックスできる方法を取り入れるのも有効です。

旬の野菜で元気チャージ！

健康レシピ

香りが良くみずみずしい旬の野菜。栄養価も高いので、旬の時期にぜひたくさん召し上がってください！そこで今回は、新ごぼうとアスパラガスのレシピをご紹介。新年度スタートの季節の体力作りにお役立てください。

教えてくれたのは　千里金蘭大学 栄養学部 栄養学科 専任教員 **石橋 朋美** さん

香りが良く食欲をそそる 新ごぼうと舞茸の炊き込みご飯

材料・分量（米3合分）

- 米 …… 3合
- 水 …… 適量
- 油揚げ（京あげ1枚程度）… 100g
- 舞茸（2パック程度）…… 220g
- 新ごぼう（細目を2本）…… 180g
- Ⓐ 水 …… 100cc
- Ⓐ 酒 …… 50cc
- Ⓐ 薄口しょうゆ …… 小さじ2杯
- Ⓐ 塩 …… 小さじ2/3杯

How to make

1. 米をとぎ、ざるにあげておく。
2. 鍋にⒶの調味料を合わせ、一度煮立たせる。
3. ②に新ごぼうを入れ、中火で10分程度炊く。
4. 炊飯器にといだ米と③の煮汁と3合の目盛までの適量の水を入れ、かき混ぜる。
5. ④に舞茸・油揚げ・新ごぼうの順に加え、炊飯。（炊き込みモードがあれば選択）
6. 炊きあがったら、切るように全体を混ぜ合わせ、器に盛り出来上がり。

Point

柔らかく**食物繊維の豊富な新ごぼう**と、**βグルカンという食物繊維の含有量が多い舞茸**を摂取することで、**腸内環境の改善と免疫力向上やアレルギー症状の改善効果が期待できます。**

アスパラガスのサクサク食感がアクセント ポテサラ風アスパラのおからサラダ

材料・分量（4人分）

- おからパウダー …… 大さじ4杯
- 豆乳 …… 1/2カップ（マッシュポテト程度に様子をみて加える）
- 塩 …… ふたつまみ
- マヨネーズ …… 大さじ2杯弱
- グリーンアスパラガス …… 4本程度
- ロースハム …… 4枚
- 茹で卵 …… 1個
- ミニトマト …… 8個

How to make

1. グリーンアスパラガスを斜め切りや小口切りに切る。（半分から根元にかけ、ピーラーで皮を剥いておくと口触りが良くなる）1分程度、塩茹でし、ざるに上げ、冷水で冷ます。（または、水洗いし耐熱容器に入れラップをかけ、500Wの電子レンジで2分程度加熱する。）
2. ロースハムをカットしておく。拍子切りなど、アスパラガスに合わせて切る。
3. おからパウダーに豆乳を加える。マッシュポテト程度のなめらかさになるように混ぜる。
4. ③に塩とマヨネーズを加え、均一に混ぜる。
5. ①と②を④に加え混ぜる。
6. ⑤を器に盛り、茹で卵とミニトマトをトッピングし、出来上がり。

Point

もともとアスパラガスから発見された成分のアミノ酸の一種である、その名も「アスパラギン酸」は、疲労回復やスタミナ増強に効果があります。**おからパウダーと豆乳を使用することで、ジャガイモの調理よりも時短**に！さらに**ポテトサラダよりも、低カロリーで高タンパク質！（低GIメニュー！）**

広告

ユニバーサルサービスは新しい医療サポートを提案します！

入院セットレンタルサービス

医療・看護・介護の効率化をご提案！

- 入院・入所セットレンタル
- 寝具・白衣・タオル類リース
- 紙オムツ・衛生材料の販売

院内売店

24 HOURS

新しいカタチの病院内売店のご提案！

当社の売店は24時間を実現。無人売店や有人と無人のハイブリッド運用のノウハウ、実績を保有。高品質な運用をお約束いたします。

株式会社ユニバーサルサービス
〒556-0027 大阪府大阪市浪速区木津川 1-1-14
〈営業所〉大阪本社・東京・四国・九州
https://universal-service.co.jp
TEL 0120-660-555

病院以外で働く 看護師さん

Vol.2 看護学校の教員

・社会福祉法人枚方療育園 関西看護専門学校 副校長
・大阪府看護学校協議会 会長

奥田 尚美 さん

暮らしの中で、病院以外でも看護師さんと触れ合う機会がたくさんあります。このコーナーでは、そのような場所で活躍している看護職をご紹介します。

「院内教育」「病棟看護」二刀流で充実した病院看護師の日々

看護師7年目の頃、学生の病院実習の指導を担当する中で、学校教育に興味を持ちました。上司に相談したところ、教員になるための講習会の受講を勧められ1年間学びました。受講後は、院内での学生や後輩の指導、専門学校での重症心身障害児看護の授業など、習得した知識をいかして活動しながら、病棟での患者さんの直接ケアも続けていました。そして教育担当部長 兼 病棟師長に就きました。

転機は40歳の時。病院が持つ「関西看護専門学校」に、教務部長として異動になったのです。病棟での仕事が好きでしたので戸惑いましたが、思い切って挑戦することにしました。

国家試験前に自己学習する3年生（右が奥田先生）

2024年11月に堺市で開催された「泉ヶ丘GAOフェス2024」に参加
市民と一緒に看護体験を行う看護学生（白衣・オレンジTシャツ着用）

10年後に看護師として頑張っている姿を想像しながら教える楽しさ

異動当初は、学校の仕事に馴染めず本当に悩みました。病院実習の経験から「学生のことはわかっている」という自負が崩れました。必死に学生たちと向き合う中で、とても慕って信頼してくれる学生もいました。卒業式で親御さんが抱きついて感謝されることもありました。また、教え子の子どもが入学するケースもあります。「教育10年」。10年後に看護師として頑張っている姿を想像しながら教育する楽しさを知りました。

看護学生と共に地域に出向いて“看護の魅力”を伝える

現在、看護職を目指す若者が減少しています。しかし、いくら機械化やIT化が進んでも看護職の仕事は気持ちを込めてテアテができる「人間」にしかできません。大阪府看護学校協議会では、未来の看護師の発掘に力を注いでいます。春はダンスフェス、秋は地域の健康フェスに参加して、看護学生と共に看護の魅力を伝えています。小さな子どもさんが白衣を着てポーズする姿を親御さんがうれしそうに撮影する様子に、10年後、この時の写真がきっかけで看護師を目指してくれることを夢見て日々活動しています。

テアテ vol.26
発行日／令和7年3月20日　発行人／弘川 摩子　編集・発行所／公益社団法人 大阪府看護協会
〒540-0001 大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル8階
TEL.06-6947-6900　FAX.06-6947-6901　https://www.osaka-kangokyokai.or.jp
※文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。